



# 2022年3月期 第2四半期決算説明資料

2021年11月11日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

当社は、2021年3月期については連結財務諸表を作成しておりません。  
そのため本資料において、過去数値との比較を行っている項目については、  
特段の記載がない限り単体の過去数値との対比になっておりますのでご了承ください。

**会社概要 事業内容**

**業績概要**

**SIG成長戦略と長期ビジョン**

**配当について**

## 経営理念



2021年10月1日より持株会社体制となり、社名をSIGグループと変更いたしました

1

### ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する

ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。SIGグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。

2

### 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる

ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。

3

### 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する

幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことでビジネスを常に前進させています。

4

### 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

会社名

株式会社SIGグループ

代表取締役社長

石川 純生

連結従業員数

432名（2021年9月末日時点）

設立

1991年12月16日

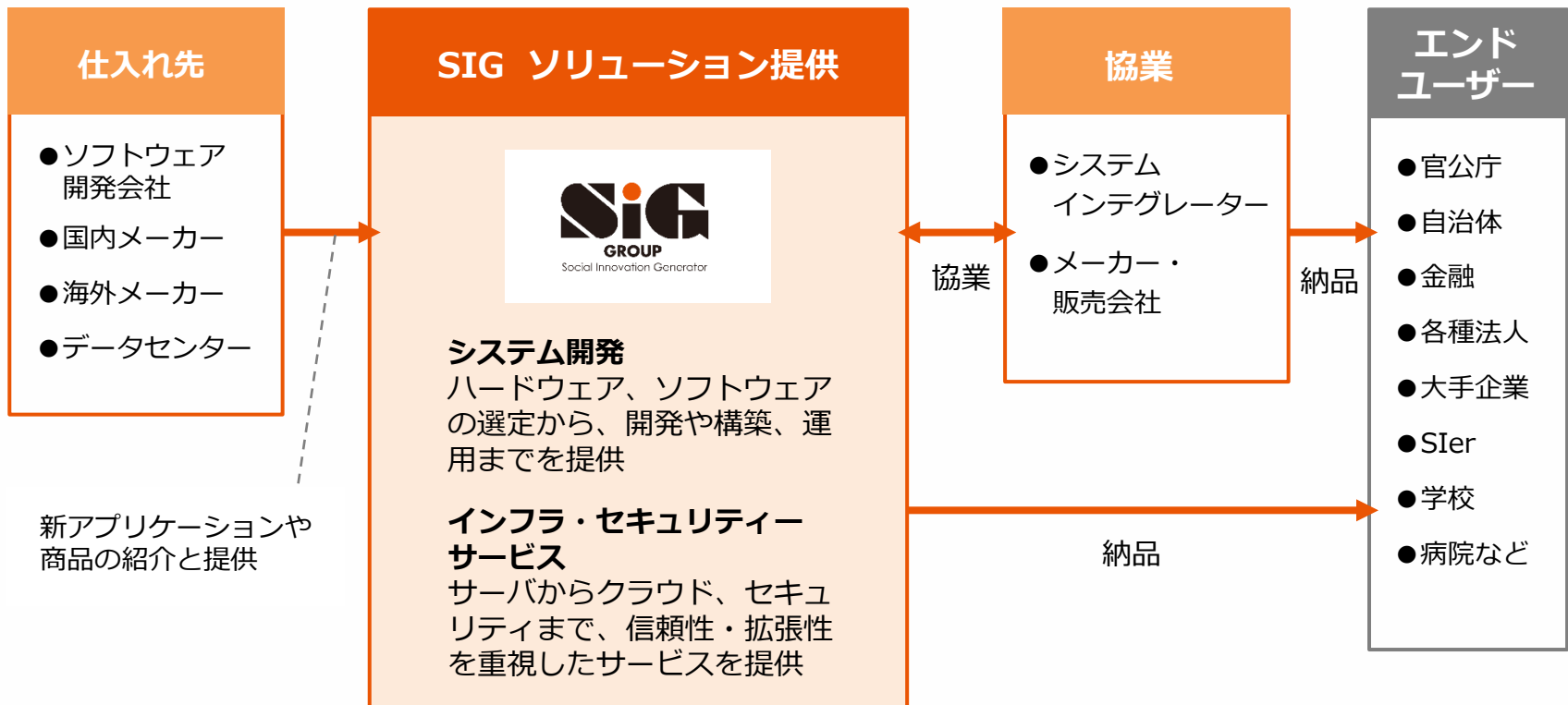
グループ会社

株式会社SIG

株式会社アクロホールディングス

株式会社Y. C. O.

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



## システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



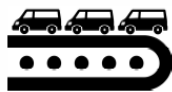
エネルギー



通信



自動車



FA



## インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティまで設計・構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン  
システム構築



防災システム  
構築



クラウド/  
ビッグデータ



クラウド環境  
セキュリティ診断



指紋認証



# 業績概要

## 第2四半期累計業績・通期計画サマリー

- 各分野において業績は堅調に推移したほか、製造系・不動産系システムが好調
- 売上の伸長と一部先送りされた販管費の影響等で営業利益は対前年を大きく上回る
- (株) アクロホールディングスの持分法による投資利益は計画通りの進捗

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 (連結)				
	第2四半期実績	第2四半期実績	前年同期比	修正通期業績予想	進捗率	当初通期業績予想
売上高	2,102	<b>2,341</b>	+11.4%	4,930	47.5%	4,700
営業利益	114	<b>137</b>	+19.3%	359	38.2%	304
営業利益率	5.5%	<b>5.9%</b>	-	7.3%	-	6.5%
持分法投資利益	-	<b>39</b>	-	47	83.6%	47
経常利益	112	<b>172</b>	+54.2%	400	43.2%	347
当期純利益	75	<b>129</b>	+71.2%	266	48.5%	231

## システム開発

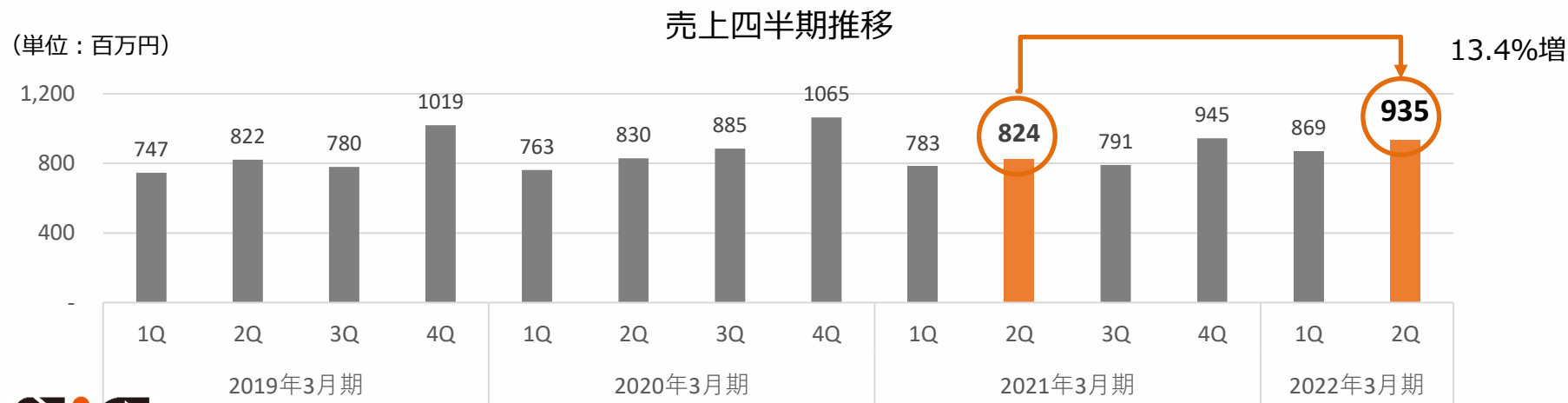
(単位：百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
累計売上高	1,607	1,805	+12.3%

### 主要事業領域の各分野での業績は堅調に推移

- ・ 公共系：自治体のDX化推進に伴うシステムの標準化・共通化による需要が伸びたことで計画を上回り推移
- ・ 製造系：電子部品実装装置の市況の好調により、組み込み系開発およびIoT投資による上位システム開発の請負案件受注が伸長
- ・ エネルギー系、サービス系：顧客別の案件流動はあったものの分野別合計としては概ね計画どおり

その他不動産の既存システムの2次開発、エンハンス開発等の受注・売上の計上がプラスに影響





## インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
累計売上高	494	536	+8.5%

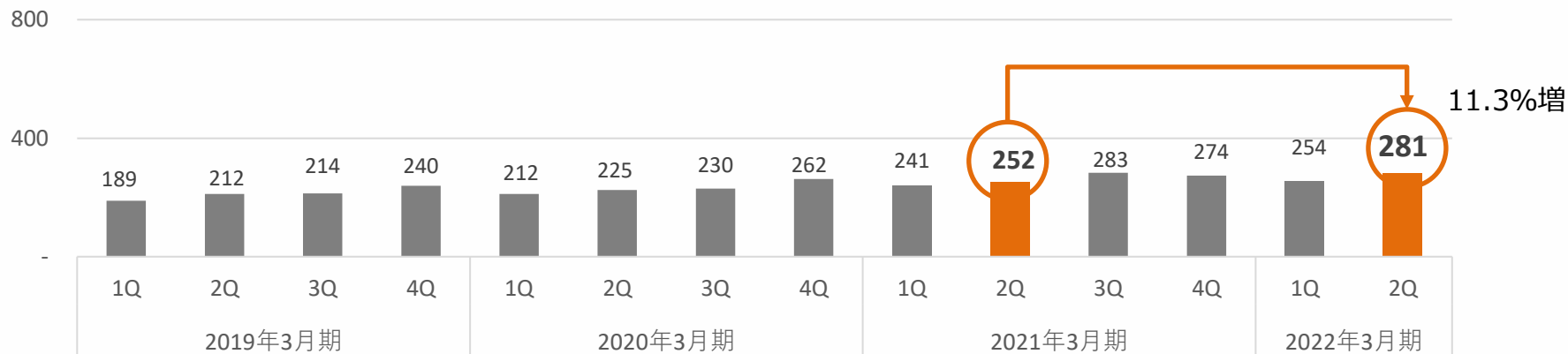
### 主要事業領域の各分野での業績は堅調に推移

- エネルギー系、保守系：クラウドおよびセキュリティソリューションの請負受注の伸びにより計画を大幅に上回る
- セキュリティ系：一部顧客のオリンピック開催中の計画業務の縮小の影響により計画値に対しわずかにマイナス

その他委任、派遣比率の高い公共、金融、サービスは安定需要により、計画をやや上回り推移

### 売上四半期推移

(単位：百万円)

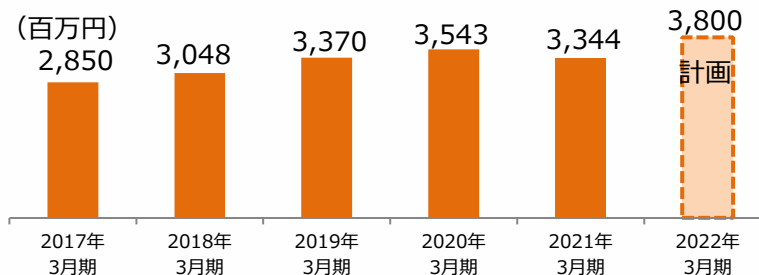


# 事業別通期計画（売上高）

## システム開発

前期実績：**33.4億円** → 当期計画：**38.0億円**  
(前年比+13.8%)

当初計画：35.7億円



業績が堅調である公共系については、上期に拡充を図ることのできた案件を維持継続し、製造系においては、電子部品実装装置での市況好調を背景に下期も請負案件が受注増の見込み。

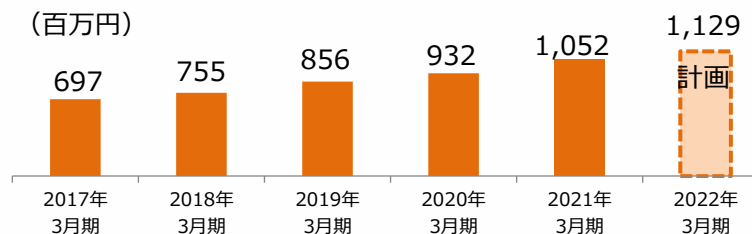
その他、エネルギー系、サービス系の主要事業領域も好調に推移。

当初計画  
+ 2.3億円

## インフラ・セキュリティサービス

前期実績：**10.5億円** → 当期計画：**11.3億円**  
(前年比+7.3%)

当初計画：11.3億円



2021年4月1日にスタートしたCSソリューションセンターのプロジェクトを中心にセキュリティソリューションの計画に対するわずかな減少分をクラウドソリューションの堅調な伸びでカバーする見込み。

その他安定した受注が続く公共、金融、サービス分野においても引き続き堅調に推移。

概ね  
計画通り

# S I G 成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

## 経営理念

## ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO\*として成長に貢献」

## 長期ビジョン ありたい姿

### 現状維持へのシステム構築

既存事業

顧客の所属する業界特有のニーズと仕様・用途を熟知するSIGができるソリューションを構築

### 事業成長へのシステム投資

新規事業

既存事業の業界知識を事業成長のソリューションへ活かす仕組みを構築

## 中期計画 課題と施策

## 第1フェーズは、SIG文化の再評価から体制構築

第1フェーズ ~2024

第2フェーズ

~2027

第3フェーズ

~2030

文化の融合による  
ビジネスチャンスの拡大

### 「崖越え\*はSIG」

- 大量のDX案件へ対応できる体制を作る
- 顧客に訴求できるソリューションの組成
- 売上：60億円

\*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要とその需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

### ITトータルソリューションカンパニーへ

- バリューアップソリューションを既存顧客へ
- システム構築支援から事業成長支援企業へ
- 売上：170億円（既存60億、新規110億）

### 企業の外部CIOとして成長に貢献

- 国内：外部CIOとして企業成長に貢献
- 海外：国内実績を活かした事業支援を展開
- 売上：300億円（従業員2,000人体制）

### 顧客のビジネス変革（DX）を支援

持株会社として機能を活かして  
M&Aで機能強化

お互いの強みを活かす  
パートナー開発

新規事業

注力分野

スマートデバイス

クラウド

セキュリティ

既存事業

得意領域

公共 製造

社会インフラ

金融 拠点

アクロHD との  
協業

グローバル  
人材

得意領域の実績と  
新規事業の注力分野  
を融合させ、DX  
ソリューションを  
提案できる体制へ

## 「崖越えはSIG」の体制を構築し、売上高60億円を達成

### 方針

- 事業体制強化と成長を勘案した数値目標を設定
- 事業執行の確実性とスピード化、ガバナンス強化のための持株会社化
- DX需要を確実に捉える体制を構築する

### 売上目標

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2024年3月期
売上高	4,397	6,000
営業利益 (営業利益率)	325 (7.4%)	600 (10.0%)

### グループ体制

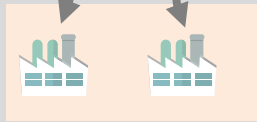
2021年10月1日現在



## AI・IoT事業

製造現場の人手不足対策としてスマートファクトリー化を加速する企業の支援

クラウド環境でデータを集積・AI分析し、効率性を改善



### 実績

- IoTを利用した設備保全管理
- AI技術による生産性向上システム

## クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

### クラウド化支援

- クラウドへのデータ移管業務
- データ分析・解析用の基板構築支援

### セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション設定確認

### 保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

## ソリューションセンター

次世代の独自ソリューション開発を検討するプロジェクトを立上げ

各事業部から次世代事業を検討できる人材を結集

現状維持へのシステム投資：ラン・ザ・ビジネス

システムソリューション事業部

ICT事業部

西日本事業部

- スマートデバイスソリューションセンター
- CSソリューションセンター

新規事業

事業戦略室

新規事業推進部

事業成長へのシステム投資：バリュー・アップ

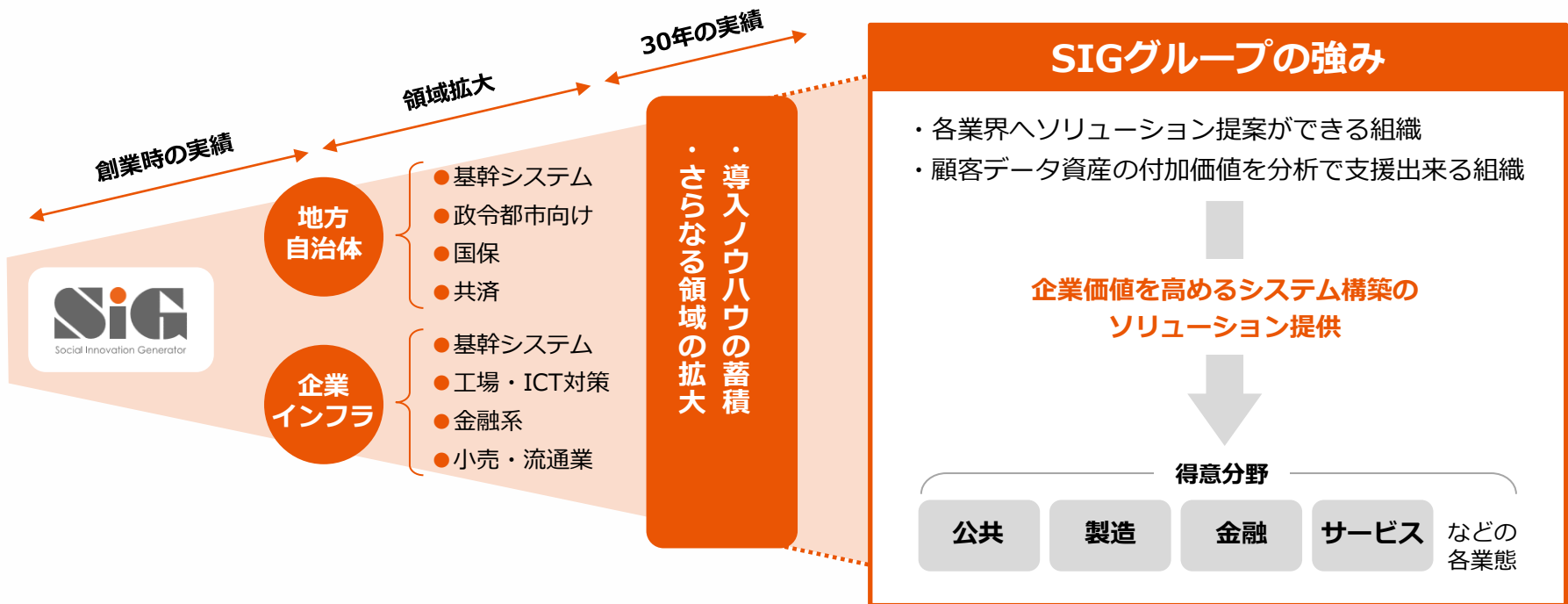
「スマートデバイスソリューションセンター」では、AI・IoT技術を活かしたソリューションを提供します

「CSソリューションセンター」は、クラウド及びセキュリティ事業に関してソリューションを提供します

## 顧客のシステムニーズに応える技術と実績

### 要素

- 地方自治体・電力会社等への基幹システム系の導入実績多数
- 30年の積み重ねで各業態固有の導入ノウハウを蓄積
- DX対応を背景に、各業態のあるべき姿へのシステム支援を提供





## 需要が伸びる中小企業へ説得力のあるサービス設計を構築

### 計画

- 大手企業のパートナーとしてセキュリティ業務ノウハウを蓄積
- 顧客層のニーズを意識したソリューション提供先との事業提携を模索
- SIG発、特徴のあるセキュリティソリューション提供を目指す

### SIGの セキュリティ事業のコア

セキュリティ  
業務の  
ノウハウの蓄積



特徴ある企業  
との  
アライアンス



実績のある  
社会インフラ  
事業との連携



### 目的

- 効果の訴求が難しいセキュリティソリューションニーズの掘り起こし
- 実績と信頼のある既存業務・事業に特徴のある外部のソリューションを加えて新規顧客獲得へ

## コンサル業務の強化を見据えた相乗効果への期待

### 構想

- 独立行政法人や国立大学、公益法人市場への新規参入
- DX・法改正に伴う新たなニーズへの対応
- 両社のシステムコンサル人材を統合し、サービス強化を図る



- 独立行政法人等へオリジナルシステムBASE-One\*導入支援とコンサルティング業務



- 受託開発とインフラ・セキュリティに強み。官公庁・公共事業が得意先

DX進捗や法改正\*等により、  
需要が高まるシステムへアップ  
デートと拡販  
\*電子帳簿保存法

SIG Groupから提供するコンサルティング業務  
の強化のため人財交流等、体制を強化する

### 株式会社Y.C.O.

予算統制・執行管理システム「BASE-One」\*ご紹介

独立行政法人/国立大学向け統合型財務会計システム

## BASE-One™

Budget Control & Financial Accounting Solution

独立行政法人会計基準、監査制度完全対応

「BASE-One」は、発生源入力による様々な業務に対応する予算統制・執行管理の機能を標準装備し「独立行政法人会計基準」や「国立大学法人会計基準」に準拠した財務会計及び管理会計業務を一元的に管理するシステムです。

- ・ 予算編成
- ・ 予算執行
- ・ 契約管理
- ・ 固定資産管理
- ・ 旅費計算

## 配当予想の修正に関するお知らせ

当社の配当政策は将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

当社は、2021年10月1日付で持株会社体制へと移行いたしました。

「株式会社SIGグループ」と商号を変更し、今後はグループ全体の競争力および経営効率をより一層高め、企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともにこのたびの持株会社体制化を記念して、2022年3月期の期末配当につきましては、1株当たり5円の記念配当を実施することといたしました。

これにより、1株当たりの年間配当金は、普通配当と合わせ合計17円となる予定です。

2022年3月期	第2四半期末	期末（予想）	合計
普通配当	6円	6円	12円
記念配当	—	5円	5円
合計	6円	11円	17円

# ディスクレームー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

当資料に関するお問い合わせ  
株式会社SIGグループ  
経営企画室 TEL 03-5213-4580（代表）